

令和4年度 財政援助団体等監査結果報告書

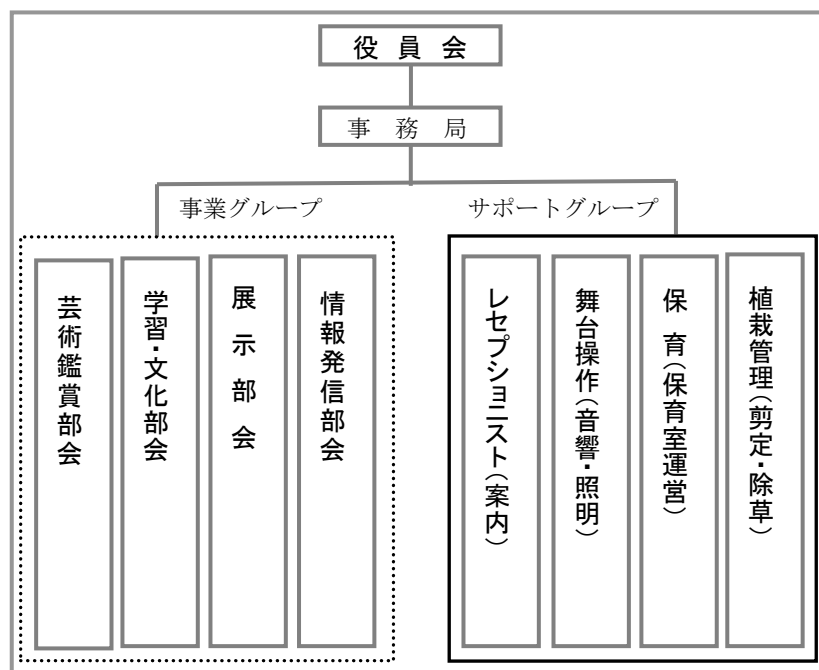
第1 監査の概要

- 1 監査の種類 地方自治法第199条第7項の規定に基づく財政援助団体等監査
- 2 監査の対象 団体 羽村市生涯学習センターゆとろぎ協働事業運営市民の会
所管課 生涯学習部生涯学習センターゆとろぎ
- 3 監査の範囲 令和2・3年度に交付された助成金に係る出納並びにその他の事務の
執行状況
- 4 監査の期間 令和4年12月2日（金）から令和5年1月31日（火）まで
（説明聴取日 令和4年12月16日（金））
- 5 監査の主眼 **【所管課】**
 - (1) 財政援助等の事業は、法令、条例、予算等に適合しているか。
 - (2) 助成金等の支出手続は、例規等に沿い行われているか。
 - (3) 団体への指導監督は特に財務上のリスクを重点にして適切に行われているか。**【財政援助団体】**
 - (1) 助成事業等は目的、計画、交付条件に沿って適正に執行されているか。
 - (2) 助成金の管理運用、会計処理及び財産の管理は適正に行われているか。
 - (3) 出納関係諸帳簿の整備は適正に行われているか。
 - (4) 財務上のリスクを識別し、そのリスクを防止・回避するための対策等が講じられているか。また、適宜、適切に見直しが行われているか。
- 6 監査の方法 監査にあたっては、「5 監査の主眼」を主な観点として、書類審査、説明聴取、質問調査及び現地調査を実施した。

第2 監査の結果

1 団体の概要

- (1) 名 称 羽村市生涯学習センターゆとろぎ協働事業運営市民の会
- (2) 所 在 地 羽村市緑ヶ丘1丁目11番地5（羽村市生涯学習センターゆとろぎ内）
- (3) 設 立 平成18年3月12日（発会式）
- (4) 目 的 羽村市生涯学習センターゆとろぎ協働事業運営市民の会（以下「市民の会」という。）は、羽村市生涯学習センターゆとろぎ（以下「ゆとろぎ」という。）が行う市民との協働事業を羽村市教育委員会（以下「教育委員会」という。）と行うことにより、市民の生涯学習の振興及び普及に寄与することを目的とする。
- (5) 事業内容 市民の会は、上記の目的を達成するため、次に掲げる協働事業の企画運営を行う。
- ① 芸術鑑賞に関する事業
 - ② 文化・生涯学習講座に関する事業
 - ③ 展示に関する事業
 - ④ ゆとろぎにおける市民活動の情報の提供に関する事業
 - ⑤ その他目的を達成するために必要な事業
- (6) 組 織 ① 組織図（令和4年12月1日現在）



② 役員構成（令和4年12月1日現在）

会 長	1 人	副 会 長	2 人	世話人（各グループ代表）	8 人
事務局長	1 人	監 事	2 人		

(7) 市との関係 羽村市生涯学習センターゆとろぎ協働事業運営市民の会助成金交付要綱に基づき、市民の生涯学習の振興及び普及を図ることを目的として、教育委員会が市民の会と協働で行う事業に要する経費を助成している。

なお、市民の会には自己財源はなく、市からの助成金により運営されている。

2 財政援助の状況

(1) 令和2年度及び令和3年度の助成金の内容及び交付状況

【第1表】

名 称	羽村市生涯学習センターゆとろぎ協働事業運営市民の会助成金	
根 拠	羽村市生涯学習センターゆとろぎ協働事業運営市民の会助成金交付要綱	
交付対象経費	①事業運営のための諸経費 ②事務局事務費 ③事務局人件費等	
交 付 年 度	令和2年度	令和3年度
交 付 申 請 日	令和2年4月1日	令和3年4月1日
交 付 決 定 日	令和2年4月1日	令和3年4月7日
交 付 決 定 額	8,023,000円	7,621,000円
交付状況	上 期	5,000,000円（令和2年4月28日）
	下 期	3,023,000円（令和2年10月14日）
助成事業完了年月日	令和3年3月31日	令和4年3月31日
実績報告書受付年月日	令和3年4月9日	令和4年4月14日
助成事業の収支実績	収入総額	8,023,000円
	支出総額	7,584,055円
	差 引	438,945円
清算金返還日	令和3年4月21日	令和4年4月27日
精算金額	438,945円	633,816円

令和2年度の助成状況は第1表のとおりであり、市民の会から提出された交付申請書に基づき、助成金額8,023,000円が交付決定された。

なお、この助成金は上期・下期の2回に分けて交付され、決算額は7,584,055円となり、交付額との差額438,945円が市に返還された。

また、令和3年度についても同様な手続きにより助成金7,621,000円が交付決定され、決算額は6,987,184円となり、交付額との差額633,816円が市に返還された。

3 事業実績

(1) 助成金の執行状況

【第2表】

(単位:円・%)

区 分	令和2年度 支出額	構成比	令和3年度 支出額	構成比	内 容
事業運営経費	1,501,264	19.8	1,155,265	16.5	
芸術鑑賞事業	461,472	6.1	278,600	4.0	主に大・小ホール等で行う芸術鑑賞事業の企画・運営に係る費用
学習文化事業	64,781	0.8	52,711	0.7	主に講座室・創作室等で行う講座の企画・運営に係る費用
展示事業	392,872	5.2	468,444	6.7	主に展示室で行う展示事業の企画・運営に係る費用
事業活動費	582,139	7.7	355,510	5.1	費用弁償、謝礼、保険料、委託料等に係る費用
事務局事務費	1,112,674	14.7	834,161	12.0	消耗品費、郵便料、手数料、広告費等
事務局人件費	4,508,625	59.4	4,501,495	64.4	事務局職員賃金 (令和2年度・3年度 各5人)
サポート組織運営 助成費	461,492	6.1	496,263	7.1	保育謝礼、舞台操作謝礼、植栽管理 謝礼
合 計	7,584,055	100.0	6,987,184	100.0	

(2) 令和2年度に実施した主な協働事業の執行状況

【第3表】芸術鑑賞部会企画事業

事 業 名	実施日(予定日)	実施会場	来場者数
ゆとろぎ大ホールステージ体験	(令和2年4月4日(土)・5日(日))		コロナ中止
第15回想ひ出の映画鑑「山椒大夫」	(令和2年7月11日(土))		コロナ中止
左手のピアニスト智内威雄 ～心に響く命の音～	令和2年9月27日(日)	大ホール	177人
子どもフェスティバル	(令和2年11月7日(土)・8日(日))		コロナ中止
第16回想ひ出の映画鑑 「麗しのサブリーナ」	令和2年11月8日(日)	小ホール	121人
栗コーダーカルテットコンサート	令和2年11月21日(土)	大ホール	195人
第17回想ひ出の映画鑑 「忠魂義烈 実録忠臣蔵」	令和3年3月13日(土)	小ホール	98人
ウズベキスタンの舞踊ステージ ～シルクロードの風を感じて～	令和3年3月20日(土)	大ホール	184人
第64回羽村ゆとろぎ寄席 第65回羽村ゆとろぎ寄席 第66回羽村ゆとろぎ寄席 第67回羽村ゆとろぎ寄席	令和2年10月2日(金) 令和2年12月5日(土) 中止 令和3年3月6日(土)	小ホール	延べ200人

コロナ中止・・・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため事業を中止した。

【第4表】学習・文化部会企画事業

事業名	実施日（予定日）	参加者数
夏休み子ども理科教室「回転のふしぎ～なぜ自転車はたおれないのか？～」	(令和2年8月5日(水))	コロナ中止
ゆとりぎ文学講座 日本の近代文学「明治の文豪から・・・森鷗外」	令和2年9月13日(日)・20日(日)	23人
ゆとりぎ身近なサイエンス講座「からだを守る免疫・・・感染症を防ぐしくみ」	令和2年10月25日(日)	44人
カメラと写真が楽しくなる・・・被写体別写真撮影入門	令和2年10月3日(土)・31日(土) 11月3日(火・祝)	19人
趣味講座「やさしいポインセチアのちぎり絵」	令和2年11月22日(日)	8人
日本史講座「明智光秀と本能寺の変」	令和2年11月29日(日)	28人
先端テクノロジー講座「驚くべき携帯電話の進化・・・モバイル通信の歩みと5G」	(令和3年2月28日(日))	コロナ中止
わが街・はむらを知るシリーズ・企業	—	コロナ中止

コロナ中止・・・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため事業を中止した。

【第5表】展示部会企画事業

事業名	実施日（予定日）	参加者数
20th アート in はむら展 多摩地区のアーティストの作品をゆとりぎ施設を活用して展示など	(令和2年7月1日(水)～12日(日))	コロナ中止
田中友佳子絵本原画展	令和2年9月2日(水)～13日(日)	延べ453人
貴依秀行 あかりの光展	(令和2年11月予定)	コロナ中止
舘野鴻作品展 ～小さな命の美しさ 虫の息遣いがきこえる～	令和3年2月17日(水)～28日(日)	延べ1,091人
第37期～第39期 ゆとりぎ美術館	年間3期(年間開催)	—

コロナ中止・・・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため事業を中止した。

【第6表】情報発信部会企画事業

実施内容	発行月等	発行部数等	備考
ゆとりぎイベントガイド	偶数月15日	市内全戸配布及び窓口配布等含め 36,100部発行/隔月 表面フルカラー・裏面モノクロ印刷	4月15日号、6月15日号はコロナ禍における各種事業の中止に伴い発行中止

(3) 令和2年度に実施したサポートグループの主な活動状況

【第7表】

区 分	活動内容
レセプション（案内）	ホール事業での案内等
保育（保育室運営）	保育（「子育てママのフリータイム」事業のみ）
舞台サポート（舞台操作）	ホール・ロビー等の催事の舞台装置・音響・照明
植栽管理（剪定・除草）	ゆとろぎ施設の植栽の維持管理

(4) 令和3年度に実施した主な協働事業の執行状況

【第8表】芸術鑑賞部会企画事業

事業名	実施日（予定日）	実施会場	来場者数
第18回 回想ひ出の映画鑑「山椒大夫」	令和3年7月25日（日）	小ホール	92人
羽村ゆとろぎ寄席 特別公演 神田伯山 ゆとろぎの陣	令和3年9月4日（土）	大ホール	395人
子どもフェスティバル	令和3年11月13日（土）・14日（日）	大ホール	延べ870人
第19回 回想ひ出の映画鑑 「白い巨塔」	令和3年11月28日（日）	小ホール	114人
第20回 回想ひ出の映画鑑 「監獄ロック」	令和4年1月30日（日）	小ホール	71人
第68回 羽村ゆとろぎ寄席 第69回 羽村ゆとろぎ寄席 第70回 羽村ゆとろぎ寄席 第71回 羽村ゆとろぎ寄席	令和3年7月10日（土） 令和3年11月5日（金） 令和4年1月22日（土） 令和4年3月5日（土）	小ホール	延べ433人

【第9表】学習・文化部会企画事業

事業名	実施日（予定日）	参加者数
ゆとろぎ文学講座 日本の近代文学「女性文豪から・・・ 与謝野晶子」	令和3年6月12日（土）、 7月11日（土）	27人
夏休み子ども理科教室「回転のふしぎ～なぜ自転車はたおれないのか？～」	令和3年8月7日（土）	30人
「大切な人権・・・新型コロナウイルス禍での女性と子ども の今」	令和3年9月5日（日）	15人
先端テクノロジー講座「全世界を結ぶインターネット・・・ その仕組みと利用を知る」	令和3年9月25日（土）	25人
「寝たきり予防と健康運動」	令和3年9月26日（日）	28人

わが街・はむらを知るシリーズ・企業 「㈱西東京リサイクルセンター」	令和3年11月23日(火・祝)	32人
ゆとろぎ身近なサイエンス講座 「すばる望遠鏡と最新宇宙像」	令和4年3月19日(土)	41人

【第10表】展示部会企画事業

事業名	実施日(予定日)	参加者数
20th アート in はむら展 多摩地区のアーティストの作品をゆとろぎ施設を活用して展示など	令和3年6月30日(水)～ 7月11日(日)	延べ1,480人
絵本作家 あずみ虫原画展	令和3年12月8日(水)～19日(日)	延べ773人
～鈴木斉の流木アート～ヒラキヒミ 2022 森と海からのメッセージ	令和4年2月17日(木)～27日(日)	延べ673人
第40期～第42期 ゆとろぎ美術館	年間3期(年間開催)	—

【第11表】情報発信部会企画事業

実施内容	発行月等	発行部数等	備考
ゆとろぎイベントガイド	偶数月15日	市内全戸配布及び窓口配布等含め 27,000部発行/隔月 表面フルカラー・裏面モノクロ印刷	

(3) サポートグループの主な活動状況

【第12表】

区分	活動内容
レセプションист (案内)	ホール事業での会場案内・おもてなし
保育 (保育室運営)	講座・ホール事業時の一時保育
舞台サポート (舞台操作)	ホール・ロビー等の催事の舞台装置・音響・照明
植栽管理 (剪定・除草)	ゆとろぎ施設の植栽の維持管理

4 総括

市民の会及び所管課について監査を行った結果、市民の会における助成金の管理運用、会計経理及び関連する事務事業、また所管課における助成金に係る出納並びにその他の事務は、関係法令に基づき、適正に執行されていると認められる。

監査における個別の意見等は、以下のとおりである。

○事務事業全般について

市民の会は、『市民との協働事業を教育委員会と行うことにより、市民の生涯学習の振興及び普及に寄与すること』という目的のもと、事務事業に取り組んでいる。

現在の事務フロー、現金管理、帳簿類の管理など、適正に管理がなされており評価するところであるが、事務局員の勤務状況管理の面において在宅勤務者の業務時間の把握方法を見直すよう提案するものである。

日々の業務に甘んじることなく、自分自身に厳しい目を持って、事務事業を実施していただきたい。

今後も市民の会の活動が生涯学習の推進の一翼を担っていくことを期待するものである。

○会員増の取組について

平成30年度以降、市の補助金の減額が続く中で、事務事業を工夫しながら実施している様子が監査を通じて認識することができた。

平成18年の生涯学習センターゆとろぎの開館から16年が経過することとなるが、社会的ニーズが様々に変化する中で、時代に合った事業展開を行っていく必要があり、市民の会としても、若者や新しいスタッフが入会を希望するような環境を整えていくことも重要ではないかと感じたところである。

今後も、会員の増強に一層努められることを期待するものである。